



## 2024年12月期 第1四半期 連結決算概要



本日開催の取締役会におきまして、当社の2024年12月期第1四半期（2024年1月1日から2024年3月31日まで）の連結決算を承認いたしましたので、ご報告いたします。

## 連結決算業績ハイライト

【第1四半期】（3月31日に終了した3ヶ月間）

	2023年12月期 第1四半期	2024年12月期 第1四半期	増減率	2024年12月期 年間予想	対前期 増減率
	百万円	百万円	%	百万円	%
売上高	971,125	988,519	+ 1.8	4,350,000	+ 4.0
営業利益	84,475	80,083	△ 5.2	435,000	+ 15.9
税引前四半期純利益	87,534	89,222	+ 1.9	450,000	+ 15.2
当社株主に帰属する 四半期純利益	56,410	59,949	+ 6.3	305,000	+ 15.3
	円	円	%	円	%
1株当たり当社株主に帰属する 四半期純利益：					
基本的	55.56	60.70	+ 9.3	308.81	+ 16.9
希薄化後	55.53	60.67	+ 9.3	308.66	+ 16.9

	2023年12月期 (2023年12月31日現在)	2024年12月期 (2024年3月31日現在)	増減率
総資産	百万円 5,416,577	百万円 5,741,156	+ 6.0
株主資本	百万円 3,353,022	百万円 3,426,096	+ 2.2

(注) 当社の連結財務諸表は米国会計基準に基づき作成しております。



## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

2024年4月24日

上場会社名 キヤノン株式会社

上場取引所 東名札福

コード番号 7751 URL <https://global.canon/ja/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 CEO (氏名) 御手洗 富士夫

問合せ先責任者 (役職名) 連結経理部長 (氏名) 谷 野 幸 穂

TEL 03-3758-2111

四半期報告書提出予定日 2024年5月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	988,519	1.8	80,083	△5.2	89,222	1.9	59,949	6.3
2023年12月期第1四半期	971,125	10.4	84,475	10.9	87,534	29.3	56,410	22.7

(注) 四半期包括利益 2024年12月期第1四半期 147,305百万円 (53.7%) 2023年12月期第1四半期 95,822百万円 (△40.3%)

	1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	希薄化後 1株当たり当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	60.70	60.67
2023年12月期第1四半期	55.56	55.53

#### (2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	5,741,156	3,679,133	3,426,096	59.7
2023年12月期	5,416,577	3,605,707	3,353,022	61.9

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	70.00	—	70.00	140.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	75.00	—	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年12月期の1株当たり配当金は、配当性向50%を目途に、安定的かつ積極的な利益還元の方針のもと、今後の業績動向及び財務状況を踏まえながら適宜見直してまいります。

### 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,350,000	4.0	435,000	15.9	450,000	15.2	305,000	15.3	308.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年12月期1Q	1,333,763,464 株	2023年12月期	1,333,763,464 株
2024年12月期1Q	345,966,776 株	2023年12月期	345,964,752 株
2024年12月期1Q	987,656,893 株	2023年12月期1Q	1,015,372,148 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる仮定等については、4ページ「1. 経営成績及び財政状態(4) 通期の見通し」をご覧ください。

## 目次

1. 経営成績及び財政状態 .....	2
(1) 当四半期の概況 .....	2
(2) 事業の種類別セグメントの状況 .....	3
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	3
(4) 通期の見通し .....	4
2. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結売上高明細表 .....	7
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(5) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(7) 四半期連結財務諸表作成の基本となる重要な事項 .....	9

## 1. 経営成績及び財政状態

### (1) 当四半期の概況

2024年第1四半期の世界経済は、欧州と中国の景気低迷が継続し、全体としては緩やかな回復に留まりました。地域別に見ますと、米国では良好な雇用情勢や実質所得の増加を背景に、個人消費が堅調に推移しました。欧州では金融引き締めに伴う景気の下押し圧力が続き、景気は弱含みしました。中国では、一時的な個人消費の持ち直しが見られたものの、不動産不況が継続しました。また、その他の新興国については、インドや東南アジアを中心に景気回復基調が継続しました。わが国では、雇用や所得環境の改善や設備投資の増加を背景に、景気は緩やかに回復しました。

このような状況の中、当社関連市場においては、インフレに伴う金融引き締めや欧州と中国経済の低迷、地政学的リスクの高まりなどにより需要が弱含みしました。製品別に見ますと、オフィス向け複合機は、欧州や中国での市況悪化の影響を受けましたが、全体としては底堅く推移しました。インクジェットプリンターは在宅需要の減少、レーザープリンターは企業の投資抑制が継続し、需要が伸び悩みました。医療機器は、国内のCT装置はコロナ需要の反動が継続し、欧州や中国は緩やかな成長に留まりました。カメラ市場は、ミラーレスカメラを中心に需要は底堅く推移しました。半導体製造装置市場は、引き続きメモリ向けの需要は弱含みましたが、パワーデバイス、生成AI向け装置の需要が堅調に推移しました。FPD製造装置市場は、パネルメーカーが投資を控えている影響で縮小傾向が継続しました。

当四半期の平均為替レートにつきましては、米ドルが前年同期比で約16円円安の148.69円、ユーロが前年同期比で約19円円安の161.35円となりました。

当四半期は、欧州や中国での市況悪化の影響を受けましたが、半導体露光装置市場が好調だったことに加え、円安による好転影響もあり、売上高は前年同期比1.8%増の9,885億円となりました。売上総利益率は、物流費を中心としたコストダウンや円安による増益効果により、前年同期を1.6ポイント上回る48.4%となり、売上総利益は前年同期比5.4%増の4,784億円となりました。営業費用は、効率性を重視した経営体質を維持しながらも、円安による外貨建ての営業費用の増加が影響し、前年同期比7.8%増の3,983億円となりました。その結果、営業利益は前年同期比5.2%減の801億円となりました。営業外収益及び費用は、外貨建て債務から生じた為替差損の好転などにより、前年同期比で61億円好転し、91億円の収益となりました。これらの結果、税引前四半期純利益は前年同期比1.9%増の892億円、当社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比6.3%増の599億円となりました。

基本的1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ5円14銭増の60円70銭となりました。

## (2) 事業の種類別セグメントの状況

当四半期の業績をビジネスユニット別に概観しますと、プリンティングビジネスユニットでは、プロダクション市場向け機器は、imagePRESS V シリーズが好調に推移し、販売台数は前年同期並みを維持しました。オフィス向け複合機は、imageRUNNER ADVANCE DX C3900 シリーズや imageRUNNER ADVANCE DX C5800 シリーズが好評を博したものの、製品供給が回復局面であった前年同期の販売台数を下回りました。一方で、サービスでは、オフィス機器の稼働台数の増加に支えられ増収となりました。インクジェットプリンターは、在宅需要の減少により販売台数は前年同期を下回りました。レーザープリンターは、企業の投資抑制が影響し販売台数は前年同期を下回りました。これらの結果、当ユニットの売上高は、前年同期比 4.0%増の 5,803 億円となりました。税引前四半期純利益は、プロダクトミックスの影響や円安による好転影響もあり、前年同期比 31.0%増の 696 億円となりました。

メディカルビジネスユニットでは、国内は CT 装置を中心としたコロナ需要の反動が継続し、欧州や中国では設置の延伸があり伸び悩みましたが、米国市場における CT 装置や超音波診断装置の販売が堅調に推移しました。加えて、昨年ミナリスメディカル社を買収したことによる売上増加の影響がありました。これらの結果、当ユニットの売上高は前年同期比 2.4%増の 1,342 億円となりましたが、税引前四半期純利益は、買収した事業への投資や次世代製品への投資を行ったため、前年同期比 17.6%減の 57 億円となりました。

イメージングビジネスユニットでは、エントリーモデルの EOS R50 など、ミラーレスカメラは新製品を中心に堅調に推移しましたが、昨年末に積みあがった市中在庫の解消に向け、出荷台数を絞ったことや販売促進費用をかけたことで、レンズ交換式デジタルカメラ全体としては減収となりました。ネットワークカメラは、用途の多様化を背景に需要は引き続き堅調に推移したものの、市中在庫の調整が影響し減収となりました。これらの結果、当ユニットの売上高は、前年同期比 8.8%減の 1,755 億円となりました。税引前四半期純利益は、前年同期比 60.3%減の 149 億円となりました。

インダストリアルビジネスユニットでは、FPD 露光装置は、引き続きパネルメーカーが投資を控えている影響で、販売台数は前年同期を下回りました。一方で、半導体露光装置は、パワーデバイス向けを中心に好調に推移し、販売台数は前年同期を上回りました。これらの結果、当ユニットの売上高は、前年同期比 10.4%増の 685 億円、税引前四半期純利益は、前年同期比 64.8%増の 124 億円となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当四半期の営業キャッシュ・フローは、純利益の増加に加えて運転資本も改善したため、前年同期比 36 億円増の 772 億円の収入となりました。投資キャッシュ・フローは、BPO サービスに強みを持つプリマジェスト社の買収などにより、前年同期から 493 億円増加し 875 億円の支出となりました。この結果、フリーキャッシュ・フローは、前年同期比で 457 億円減少し、103 億円の支出となりました。

財務キャッシュ・フローは、期末配当を増配したことで配当金の支払いが増加しましたが、必要な運転資本の増加に伴う長期債務の増加などにより前年同期から 302 億円増加し、1,060 億円の収入となりました。

これらの結果、当四半期末の現金及び現金同等物は、為替変動の影響分を合わせて前期末から 1,082 億円増加し、5,095 億円となりました。

## (4) 通期の見通し

第2四半期以降の世界経済は、依然として地政学的リスクの高まりや、インフレの継続による世界的な金融引き締め、欧州や中国市場の停滞などに伴う下振れリスクはあるものの、わが国や米国を中心とした良好な雇用情勢や所得環境の改善により、回復基調を維持するものと想定しています。

当社関連市場においては、オフィス向け複合機は、一部地域で市況停滞の影響が懸念されるものの、生産性の高いプリント機器へのニーズは引き続き高く、オフィスの中核デバイスとして底堅い需要は継続すると見込まれます。レーザープリンターは引き続き企業の投資抑制の影響を受けるものの、OEM先での在庫調整が一巡し、当社の売上は拡大する見込みです。インクジェットプリンターは、在宅需要の減少が懸念されますが、当社は大容量インクタンクモデルのラインアップを拡充させるなど拡販に注力します。医療機器については、延伸した機器の据付が進み、堅調に推移する見通しです。レンズ交換式デジタルカメラは、市中在庫の適正化が完了することに加え、ミラーレスカメラへのシフトが継続し、需要は堅調に推移する見通しです。ネットワークカメラも、在庫調整を終え、本来の安定した成長へ回復する見通しです。半導体露光装置は、パワーデバイス向けや生成 AI 向け等の堅調な需要を背景に、更に市況が活性化する見通しです。FPD露光装置は、パネルの市中在庫調整により需給バランスの適正化が進み、またパリオリンピックによる需要増も見込まれるため、期後半にかけて市況が改善する見通しです。

業績見通しの前提となる第2四半期以降の為替レートにつきましては、米ドル 140 円、ユーロ 155 円とし、通期の前期比で米ドルは約 1 円の円安、ユーロは約 4 円の円安とし、前回公表から米ドルは約 2 円、ユーロは約 1 円の円安を想定しております。

通期の連結業績見通しは、この為替レートを前提として、好調な半導体製造装置市場に加え、昨年の Canon Expo で展示した競争力のある新製品の効果、また、コストダウン活動の推進による収益力向上を加味し、売上高 4 兆 3,500 億円(前期比 4.0%増)、営業利益 4,350 億円(前期比 15.9%増)、税引前当期純利益 4,500 億円(前期比 15.2%増)及び当社株主に帰属する当期純利益 3,050 億円(前期比 15.3%増)とし、前回公表を据え置きます。

## 【連結業績予想】

通期(2024年1月1日~2024年12月31日)

(単位 百万円)

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B - A)	前期実績 (C)	増減率(%) (B - C)/C
売上高	4,350,000	4,350,000	-	4,180,972	+4.0%
営業利益	435,000	435,000	-	375,366	+15.9%
税引前当期純利益	450,000	450,000	-	390,767	+15.2%
当社株主に帰属する 当期純利益	305,000	305,000	-	264,513	+15.3%

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

科 目		2023年12月期 (2023年12月31日現在)	2024年12月期 (2024年3月31日現在)	増 減
資 産 の 部	流動資産	(2,224,086)	(2,434,124)	(210,038)
	現金及び現金同等物	401,323	509,511	108,188
	短期投資	3,822	3,930	108
	売上債権	655,460	634,790	△20,670
	棚卸資産	796,881	894,874	97,993
	短期リース債権	150,324	162,047	11,723
	前払費用及びその他の流動資産	231,605	245,261	13,656
	信用損失引当金	△15,329	△16,289	△960
	固定資産	(3,192,491)	(3,307,032)	(114,541)
	長期債権	11,734	13,719	1,985
	投資	78,505	78,909	404
	有形固定資産	1,095,879	1,119,611	23,732
	オペレーティングリース使用权資産	126,125	136,927	10,802
	無形固定資産	274,942	275,893	951
	のれん	1,045,400	1,084,561	39,161
	長期リース債権	321,065	347,751	26,686
	その他の資産	242,659	253,872	11,213
	信用損失引当金	△3,818	△4,211	△393
	資産合計	5,416,577	5,741,156	324,579
負 債 及 び 純 資 産 の 部	流動負債	(1,439,176)	(1,583,727)	(144,551)
	短期借入金及び1年以内に返済する長期債務合計	386,200	467,892	81,692
	金融サービスに係る短期借入金	38,900	39,000	100
	その他の短期借入金及び1年以内に返済する長期債務	347,300	428,892	81,592
	買入債務	309,930	364,196	54,266
	未払法人税等	56,983	43,471	△13,512
	未払費用	373,544	387,594	14,050
	短期オペレーティングリース負債	35,559	37,839	2,280
	その他の流動負債	276,960	282,735	5,775
	固定負債	(371,694)	(478,296)	(106,602)
	長期債務	2,954	105,604	102,650
	未払退職及び年金費用	171,779	170,367	△1,412
	長期オペレーティングリース負債	92,604	101,223	8,619
	その他の固定負債	104,357	101,102	△3,255
	負債合計	(1,810,870)	(2,062,023)	(251,153)
	株主資本	(3,353,022)	(3,426,096)	(73,074)
	資本金	174,762	174,762	-
	資本剰余金	404,935	405,015	80
	利益剰余金合計	(3,862,846)	(3,853,649)	(△9,197)
	利益準備金	61,634	61,722	88
その他の利益剰余金	3,801,212	3,791,927	△9,285	
その他の包括利益(損失)累計額	268,758	350,958	82,200	
自己株式	△1,358,279	△1,358,288	△9	
非支配持分	252,685	253,037	352	
純資産合計	(3,605,707)	(3,679,133)	(73,426)	
負債及び純資産合計	5,416,577	5,741,156	324,579	

	2023年12月31日	2024年3月31日
(注) 1. 減価償却累計額	3,088,649	3,155,657
2. その他の包括利益(損失)累計額内訳		
為替換算調整額	374,937	456,584
未実現有価証券評価損益	26	48
金融派生商品損益	924	△699
年金債務調整額	△107,129	△104,975



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位 百万円)

科 目	2023年12月期 (2023年1月1日～ 2023年3月31日)		2024年12月期 (2024年1月1日～ 2024年3月31日)		増 減 金 額
	金 額	(%)	金 額	(%)	
売上高	971,125	100.0	988,519	100.0	17,394
売上原価	517,115	53.2	510,077	51.6	△7,038
売上総利益	454,010	46.8	478,442	48.4	24,432
営業費用					
販売費及び一般管理費	293,037	30.2	318,909	32.3	25,872
研究開発費	76,498	7.9	79,450	8.0	2,952
合計	369,535	38.1	398,359	40.3	28,824
営業利益	84,475	8.7	80,083	8.1	△4,392
営業外収益及び費用					
受取利息及び配当金	2,395		3,935		1,540
支払利息	△330		△629		△299
その他－純額	994		5,833		4,839
合計	3,059	0.3	9,139	0.9	6,080
税引前四半期純利益	87,534	9.0	89,222	9.0	1,688
法人税等	25,804	2.6	25,017	2.5	△787
非支配持分控除前 四半期純利益	61,730	6.4	64,205	6.5	2,475
非支配持分帰属損益	5,320	0.6	4,256	0.4	△1,064
当社株主に帰属する 四半期純利益	56,410	5.8	59,949	6.1	3,539

(四半期連結包括利益計算書)

(単位 百万円)

科 目	2023年12月期 (2023年1月1日～ 2023年3月31日)		2024年12月期 (2024年1月1日～ 2024年3月31日)		増 減 金 額
	金 額	金 額	金 額	金 額	
非支配持分控除前四半期純利益	61,730	64,205	2,475		
その他の包括利益(損失)					
－ 税効果調整後					
為替換算調整額	31,595	82,399	50,804		
未実現有価証券評価損益	24	22	△2		
金融派生商品損益	296	△1,628	△1,924		
年金債務調整額	2,177	2,307	130		
合計	34,092	83,100	49,008		
四半期包括利益(損失)	95,822	147,305	51,483		
非支配持分帰属四半期包括利益	5,438	5,156	△282		
当社株主に帰属する 四半期包括利益(損失)	90,384	142,149	51,765		

## (3) 四半期連結売上高明細表

(単位 百万円)

区 分	2023年12月期 (2023年1月1日～ 2023年3月31日)		2024年12月期 (2024年1月1日～ 2024年3月31日)		2024年12月期 2023年12月期 %
	金 額	構成比 %	金 額	構成比 %	
プリンティング	558,153	57.5	580,264	58.7	104.0
メディカル	131,055	13.5	134,212	13.6	102.4
イメージング	192,423	19.8	175,541	17.8	91.2
インダストリアル	62,061	6.4	68,485	6.9	110.4
その他及び全社	55,410	5.7	55,138	5.6	99.5
消 去	△27,977	△2.9	△25,121	△2.6	—
合 計	971,125	100.0	988,519	100.0	101.8
国 内	228,751	23.6	240,062	24.3	104.9
海 外	742,374	76.4	748,457	75.7	100.8
米 州	295,222	30.4	304,078	30.8	103.0
欧 州	253,998	26.2	250,988	25.4	98.8
アジア・オセアニア	193,154	19.8	193,391	19.5	100.1

\*当社は、2024年第1四半期より、報告セグメントごとの業績をより適切に管理するため、その他及び全社におけるグループ間取引の業績管理方法を変更しております。これに伴い、2023年第1四半期連結累計期間についても組み替えて表示しております。

(注) 1. 事業の種類別セグメントの主要製品は以下のとおりであります。

プリンティングビジネスユニット：

デジタル連帳プリンター、デジタルカットシートプリンター、大判プリンター、  
オフィス向け複合機、ドキュメントソリューション、レーザー複合機、レーザープリンター、  
インクジェットプリンター、イメージスキャナー、電卓

メディカルビジネスユニット：

CT装置、超音波診断装置、X線診断装置、MRI装置、デジタルラジオグラフィ、眼科機器  
体外診断システム及び試薬、ヘルスケアITソリューション

イメージングビジネスユニット：

レンズ交換式デジタルカメラ、交換レンズ、コンパクトデジタルカメラ、コンパクトフォトプリンター、  
MRシステム、ネットワークカメラ、ビデオ管理ソフトウェア、映像解析ソフトウェア、  
デジタルビデオカメラ、デジタルシネマカメラ、放送機器

インダストリアルビジネスユニット：

半導体露光装置、FPD露光装置、有機ELディスプレイ製造装置、真空薄膜形成装置、ダイボンダー

その他：

ハンディターミナル、ドキュメントスキャナー

2. 地域の区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

米 州：米国、カナダ、中南米諸国

欧 州：イギリス、ドイツ、フランス、オランダ、欧州諸国、アフリカ・中近東諸国

アジア・オセアニア：中国、アジア諸国、オーストラリア

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

	2023年12月期 (2023年1月1日～ 2023年3月31日)	2024年12月期 (2024年1月1日～ 2024年3月31日)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
非支配持分控除前四半期純利益	61,730	64,205
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費	52,472	54,451
固定資産売却損	1,223	87
法人税等繰延税額	△3,719	△2,331
売上債権の減少	49,581	39,097
棚卸資産の増加	△41,049	△74,284
リース債権の増加	△13,175	△13,454
買入債務の増加	6,885	48,241
未払法人税等の減少	△21,727	△14,487
未払費用の減少	△13,380	△10,789
未払退職及び年金費用の減少	△6,933	△9,973
その他－純額	1,701	△3,544
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,609	77,219
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産購入額	△43,314	△52,668
固定資産売却額	1,812	137
有価証券購入額	△154	△1,548
有価証券売却額及び償還額	4,653	1,665
事業取得額(取得現金控除後)	—	△32,672
その他－純額	△1,121	△2,383
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,124	△87,469
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期債務による調達額	—	100,000
長期債務の返済額	△565	△557
金融サービスに係る短期借入金の増加額－純額	200	100
その他の短期借入金の増加額－純額	140,302	80,000
配当金の支払額	△60,931	△69,146
自己株式取得及び処分	△2	△9
その他－純額	△3,271	△4,406
財務活動によるキャッシュ・フロー	75,733	105,982
為替変動の現金及び現金同等物への影響額	4,381	12,456
現金及び現金同等物の純増減額	115,599	108,188
現金及び現金同等物の期首残高	362,101	401,323
現金及び現金同等物の期末残高	477,700	509,511

\*2023年12月期の連結キャッシュ・フロー計算書については、2024年12月期の表示方法に合わせて組み替えて表示しております。

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 四半期連結財務諸表作成の基本となる重要な事項

当社の連結財務諸表は、米国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて作成されております。